

研究結果報告書

この度は、貴住友財団2010年度「アジア諸国における日本関連研究助成」を受け、計画通りの研究実施ができた。

研究実施の主体である中国関連目録作成では、まず、考察対象である雑誌現物及び電子形式のものを含めた《太陽》全531冊を揃え、その掲載されたすべてのものを確認し、中国関連の報道・ニュース・論評・論文及び挿図写真を抽出し、その内容を確認めたうえで、それぞれのタイトルに中国語訳をつけ、巻号順で計796項目、A4サイズ用紙で93枚にもなる「『太陽』中国関連目録」を作成した。その後、改めて点検・確認を加え、定稿にした。完成したものは、先に雑誌に発表するが、最終的には他の部分もつけ加えて、報告書にまとめる。総目録の他、一部の重要なものに対して、その「解説」を作成した。

以上の作業に基づき、『太陽』の中国報道・中国言説の形成及び移り変わりの軌跡、つまり『太陽』における「中国像」を検討する作業も行った。作成した論文「近代日本雑誌媒体的“中国”与“中国言説” 關於総合雑誌『太陽』（1895～1928）研究」では、特に明治・大正時代の中国報道・中国言説の大きな流れの形成及びその特徴の把握に努めた。

上記の研究作業を進める上で、中国と日本の両方で関連の図書資料（新書と古書）、例えば中国歴史年表、日本歴史年表、世界歴史年表、日中関係史年表、日中それぞれの雑誌新聞紙歴史に関する基礎的な文献資料を購入した。これらの資料については、今後も継続して閲読・分析を進めたい。また、予定された現地調査を行った。その過程で、上海、北京、東京、福岡、京都の公立・大学図書館などで、関係する史料の調査・収集を行い、日本では関係する時期の『中央公論』『改造』『文藝春秋』『読売新聞』等、中国では『申報』『東方雑誌』『小説月報』『上海画報』『申報月刊』多数の資料の閲覧・コピーができた。同時に、一部の研究者の訪問もできて、多くの収穫があった。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- (1) 「近代日本の総合雑誌『太陽』研究について 『太陽』における中国を中心に」、潘世聖、『太陽』研究発表会、2012年後半、華東師範大学外国語学院
- (2) 2013年度にも、中国国内の関連学会で発表する予定。具体は未定。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- (1) 「近代日本雑誌媒体的“中国”与“中国言説” 關於総合雑誌『太陽』（1895～1928）研究」、『華東師範大学外語論叢』第2号、2012年掲載予定。
- (2) 「雑誌『太陽』中国相関記事文献目録」、『中華文史論叢』、2012年後半。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

正式な書籍ではないが、本の形の報告書にまとめ、刊行する予定。
2013年度。